

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×社長はケチ！と思うのは誤解だ！

会社の中でもっともコスト意識を持っているのが、社長である。必要なコストと不必要なコストを見極める正確な目を持ち、お金をもっと有効に使おうという感覚に優れているだけである。経費の細かい項目を指摘されることがあったならば、それはほぼ間違いなく「まったく不必要なコスト」か「もっと削れるコスト」であろう。コストのとらえ方について、とくに社長とギャップを感じたならば、それは大いに学ぶべき機会だと思って、コストコントロールの価値を理解することだ。

※ 計画未達成を経費のせいにする人たち

ところが、現実には「経費を使えないから計画が達成しない」と自分の力不足を経費コントロールに責任転嫁する人がいる。目標未達成の営業マンが「ウチは交際費を使わせてくれないから・・・」「地方出張でさえ日帰りで、宿泊費をケチるので・・・」との声。そういった人は、経費を使えば本当に利益がでるなら、その経費を使わない社長がいるはずがない！ということもわかっていない。なぜなら、利益にもっとも敏感なのは社長なのだから。

※ 仕事で使うものは3つしかない

計画を達成するには、「体」を使うか「頭」を使うか、「お金」を使うか、この3つの方法しかない。あなたが社長だったら、どれを使う人を社員として評価するだろうか？答えは簡単だろう「頭」と「体」を使う人である。なぜなら、社員にはすでに人件費というお金を使っているのだから。それなのに、「頭」と「体」を使わずに、「お金」で解決するような人を、だれも社員として採用したくないのである。「体」を十分使う人。最低限の合格ラインである。「頭」を使う人。今後も期待される合格ラインである。「お金」ばかり使いたがる人。不合格ラインである。

会社の中で、一番コスト意識が強いのは誰ですか？

()

コストのとらえ方について、社長とギャップを感じたら何をすれば良いですか？

()

仕事で使うもの3つは何ですか？

() () ()

カッコの中を埋めてください。

- () 最低限の合格ラインである。
- () 今後も期待される合格ラインである。
- () 不合格ラインである。